ニュージーランド・オタゴ大学ランゲージセンター留学報告

教育文化学部・　人間社会課程・言語文化コース　2年　（黒木貴子）

〇留学先：ニュージーランド・オタゴ・オタゴ大学ランゲージセンター

〇留学期間：平成23年8月4日～9月8日

〇渡航時の学年：　　大学2年次

〇渡日前の手続について

・留学に至った経緯について：

幼い頃から留学に興味がありましたが、親元を離れたことがない私にとって急に長期間留学というのは億劫であった。そんな時に大学で夏休みを利用して留学ができると聞き、時間に余裕のある今がチャンスだと思い、しかもちょうど TOEIC の勉強をしたいと考えていたために今回の留学を決意しました。

・大学での手続について：

国際連携センターに数回立ち寄り、そこで全て手続きの説明を受けました。

私は、パスポートを持っていたため大学側が提示した資料を書くだけでした

〇留学体験記：

渡航費用：授業料生活費もろもろ全て込みで約60万。

生活費について：食事に関して言うと平日のお昼ご飯だけ自腹だった。時間に余裕のある日は街に出かけて皆でタイ料理や寿司などを食べ、時間のない日は予めスーパーマーケットで買っておいたインスタント食品をコモンルーム（生徒がくつろぐ場所）で食べた。節約すればーか月2万あれば十分だと考える。私は、お土産代を含めても4万円内で抑えることができた。

学校の環境：日本人と中国人、サウジアラビア人が多かったように感じる。しかし日本人学生の言語能力が高いことに圧倒された。他にもベトナム人、チリ人や韓国人などもいた。ランゲージセンター自体は割と綺麗だったと感じる。授業も少人数で受け、ペアやグループで話し合う時間が多いために、直ぐに友達ができた。

授業内容：主にテキストにそって授業を行う。週に1回アクティビティの授業などがある。1日当たり90分×3コマの授業だった。先生の英語が分かりやすかった。

気候：南半球のニュージーランドは冬、当然寒いと承知の上だったか思いの外寒かった。数十年

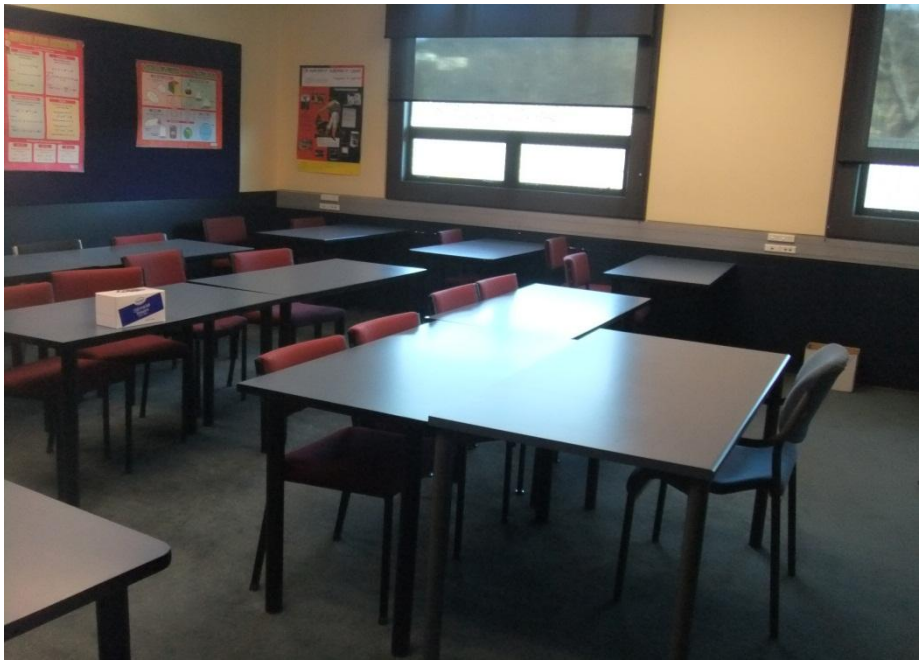
に一度の雪が8月中旬に降り、風も冷たくコートが必須だった。
生活環境：ホストファミリーがとても親切で心地よく住むことができた。食事も美味しく、Kiwi の伝統料理を食べることができた。また、家庭ごとにルールがあるのでそれをしっかり守り、自分からコミュニケーションをとることも大切だと考える。また、ニュージーランド独特の訛りがあり、初めは訛りが分からず苦戦したが、訛りを知ることも楽しみの一つだった。
交通の便：主にバスを使用したが、宮崎のように時間通りに来ないことが多かった。しかし、気さくな運転手が多く、気軽にバスに乗ることができた。

〇帰国後について
・派遣先で単位を取得しましたか？（　しなかった　）
・派遣先で取得した単位は宮崎大学で認定されましたか？（　されなかった　）

〇今後、留学を希望する宮大生のみなさんへ
・生半可な気持ちで行くべきではない。語学学校の生徒は皆熱心に英語の勉強をしていました。高いお金を払って行くのだから、それなりの勉強と準備をしておくべき。
・YES、NO をはっきりと！曖昧な返答ではなく、明確な返答が求められる。私の場合、ホームステイ先でそれを痛感する場面が多々ありました。
・語学学校ではよく日本のアニメについて聞かれた。NARUTO や名探偵コナンなどの漫画やアニメを知っておくと話の輪が広がると考える。また、日本の俳優（三浦春馬）やジャニーズ、ジブリ作品など、日本について詳しい外国人が多いのでそういった知識があると会話が弾むと思う。
・新しい自分に出会える良い機会です。当然良いことも悪いことも経験すると思います。日本を離れて初めての土地で様々な経験を行ってください。
・何より大切なことは自分自身が楽しむこと！きっと毎日が大切な思い出になると思います。限られた時間をどう過ごすかはあなた次第です。応援しています。

（Kiwi の伝統お菓子。ホストマザーに作ってもらいました。）

（ホストマザーとパシャリ。）



（教室の様子。）

（駅）

（ランゲージセンターの学生と大学前でパシャリ。宮大生が４人います。分かりますか？）